

○特別支援学校における指導

領域	保健体育	学年	高等部 知的	単元名	体を大切にしよう
ねらい	思春期における体の変化から、自他の体を大切にする方法を考えることができる。				
評価規準	自他の体を大切にすること適切な行動について理解している。(知識・理解)				
過程	時間	学習内容・活動		指導上の留意点、活動における支援	
導入	5	1 思春期の体の変化について既習事項を振り返る。 ・大人になると男性はがっしりした体つき、女性は丸みのある体つきになる。		・男女の体つきの違いがわかる具体物(絵や写真)を活用し、振り返ることができるようにする。	
展開	40	課題：自分や友だちの体を大切にする方法を考えよう			
		2 思春期に、体にどのような変化が起こるのか確認する。 ・ひげがはえる ・にきびができやすくなる ・毛がはえる ・むねがふくらむ ・射精や月経が起こる 3 体を大切にするために、どのようなことに気をつけたらよいか考える。 [プライベートゾーンに関する行動] ・性器を清潔にする ・人の体を勝手に触ったり、触らせたりしない 等 [身だしなみや服装に関する行動] ・季節に応じた服装を身に付ける ・過度に体を露出した服装にしない ・下着を身に付ける 等		・体の変化が起こる前と後のイラスト等を活用し、変化がわかるように示す。 ・成長には個人差があることを押さえる。 ・水着で隠れる部分(プライベートゾーン)は、大切な場所であることを説明し、身体を大切にしたい行動を考えることができるようにする。 ・行動を実際に示すことで、大切にしている行動かどうか具体的に考えることができるようにする。	
まとめ	5	4 日常生活の中で、体を大切にするための行動について整理する。		・不安や悩みは保護者や教師に相談するとよいことを伝える。	
<配慮事項> ・視覚的な教材を多く用いることで理解しやすいようにする。 ・知識や用語だけの指導とならないよう、ロールプレイを取り入れる等工夫する。 ・日常生活の指導や自立活動とも関連を図って指導する。 ・個別指導が必要な場合は、実態に応じて、適切に実施する。 ・授業内だけでなく、日常の学校生活で機会をとらえて繰り返し指導を行う。 ・家庭と連携しながら、指導できるようにする。					

評価規準【知識・理解】

自他の体を大切にすること適切な行動について理解している。
(発言・ノート)